

フォト句会 2025年3月度報告

開催日：3月11日(火)

時間：15時30分～17時30分

出席者：6名

写真出題：中村

付け句 お題「インド・タージマハル」(出題;中村)



付け句「インド タージマハル」 : 出題 : 中村

- 1) 身のほどに一平米の我がお墓 矢澤 正二
国土の狭い日本では、お墓の広さもそれなりに…
- 2) 霊廟の白き輝きありがたや 清水 勝
眺めるだけで気持ち洗われる荘厳な建物。
- 3) 暑い夜インドの民は子沢山 中村 晃也
お国事情は住んでみないとわからないことも。
- 4) ムガールの王妃のサリー白く映え 新田 由紀子
寛容な政策で人民の信頼を集めた皇帝、その王妃を想う。
- 5) 幾何学の極致せまるや夫婦愛 安藤 晃二
柔らかな形状で白く輝く霊廟は、人々の心を和ませる。
- 6) 一生に一度は拝む聖地かな 中村 晃也
インドの人なら是非とも参拝したい場所だろう。

自由題



大樗 生命力に神宿る

(勝)



キタキツネ

モデル料代わりに
何か食料を（昌康）



春寒や電飾和む

首都の夕（晃二）



岩肌に残雪の見ゆ
裏妙義（晃也）

抜かれずに

よくぞここまで

頑張った(正こ)



自由題 寸評

- 1) 大櫓 生命力に神宿る 清水 勝
大木の空洞に神を祭った不思議な空間。
- 2) モデル料代わりに何か食料を 松田昌康
キタキツネと対話を交わした貴重な瞬間。
- 3) 春寒や電飾和む首都の夕 安藤 晃二
高層ビルのライティングをシャープに捉えた。
- 4) 岩肌に残雪の見ゆ裏妙義 中村 晃也
青空をバックにそそり立つ山の迫力を表現。
- 5) 抜かれずによくぞここまで頑張った 矢澤正二
なぜか一株だけ残された大根の存在感。